

布川事件再審裁判＝水戸地方裁判所土浦支部

大震災で判決日が延期 5月24日に

検察の控訴許さない闘いに全力を！

桜井昌司さん・杉山卓男さんを守る会

布川事件ニュース

守る会第34回総会は6月11日に

3月11日に起きた「東日本大震災」によって、3月16日に予定されていた布川事件再審判決日が裁判所の都合により延期され、改めて5月24日（火）午後1時半からとなりました。

布川事件守る会は3月31日、事務局会議を開き「大震災」後の状況を考慮し、「判決後」に予定していた

- ① 3月16日に予定していた行動を、5月24日にスライドさせる。
- ② 各守る会代表による裁判所への署名提出を4月26日（火）におこなう。
- ③ 5月15日（日）、利根



判決日を目前に3月6日、利根町宣伝をおこないました。直後の大地震で利根川を渡った布佐駅近くでは液状化現象も…(写真＝塩田哲子さん)

第372号
 〒113-0034
 東京都文京区
 湯島2-4-4
 平和と労働センター
 ・全労連会館5F
 ☎ 03-5842-6464

町での地元宣伝をおこなう。

④ 4月16日に予定した第34回守る会総会を6月11日(土)に延期する。

また、5月24日の判決から検察の控訴期限である6月7日までの行動予定を、以下のとおり見直ししました。

① 5月25日(水) 正午から日弁連前宣伝、午後2時から東京高検要請、午後3時から有楽町マリオン前宣伝、

② 5月29日(日) 午後1時から午後4時まで有楽町マリオン前ロングラン宣伝、

③ 6月1日(水) 午後6時30分から「判決報告決起集会」、

④ 6月2日(木) 正午から日弁連前宣伝、午後2時から東京高検要請、

⑤ 6月7日(火) 正午から日弁連前宣伝、午後2時から東京高検要請、午後5時から記者会見場待機。

3月16日の判決を心待ちにしておられた全国の皆さん!改めて仕切り直しとなった5月24日、土浦で「雪冤」をともに祝い、検察の不当な控訴を許さない闘いに、全力を尽くす決意を固めようではありませんか!

(守る会事務局長・中澤宏)

◇映画「ショージとタカオ」

観た人に元気もたらす

新宿、横浜でロードショー始まる

「ショージとタカオ」はキネマ旬報文化映画部門第1位を受賞し、新聞・雑誌・テレビなどで多く扱われ、大きな反響を呼びました。3月19日からは新宿と横浜の映画館でロードショーが始まりました。

本来なら判決日の直前に始まり、多くの話題をもたらすはずでしたが、東日本大震災により判決は5月24日に延期され、また震災後の原発の放射能漏れなどのため、なかなか映画館まで足を運んでいただくのが困難な状況が続き、苦戦を強いられることになってしまいました。

映画監督の井手洋子さんや上映委員会の人たちが頑張り、桜井昌司さん、杉山卓男さんも井手さんとともに、トークイベントで宣伝に努めています。4月3日の午前には満席になったりもしました。

実際に見ていただいている方は、老若男女様々で、冤罪の支援をしている方々のみならず、サラリーマン、学生、主婦、法曹関係者、マスコミ関係者など多岐にわたり、若い方も観ています。そして、多くの方が元気をもらったという感想を寄せています(2面に感想のいくつかを掲載しています)。とくに冤罪に関心のない方々でも、充分多くのことを感じられる映画であることは間違いありません。

新宿では入りによっては5月24日の判決日以降までのロングランも可能であると聞いております。国民が皆裁判員として刑事裁判に関わる可能性のある今、より多くの人にこの映画を広げ、無実の罪で29年も獄中生活を強いられたという事実を知っていただき、その原因を考えていただくことがとても意義のあることだと思います。ぜひこの映画の上映にご支援をいただきたいと思っております。

なお、守る会では特別鑑賞券を1,200円(当日一般1,800円/学生1,500円のところ)で販売しています。お申し込みください。

(守る会事務局・山川清子)

上映館各地に広がる

- ▽新宿ケイズシネマ(新宿駅東南口)
判決日(5月24日)まで上映を継続予定
- ▽横浜ニューアトル(JR 関内駅北口)
4月9日以降調整中
- ▽名古屋シネマスコール
4月9日~23日
- ▽北海道@ 蠍座
5月24日~6月6日
- ▽大阪第七藝術劇場 ▽京都みなみ会館
以上2館は6月以降の予定です。
詳細は上映委員会(Tel 03-6273-2324)にお問い合わせください。「ショージとタカオ」で検索すると上映委員会のホームページが開きます。上映予定など掲載されています。

東日本大震災で被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます

桜の季節が始まった今は、本来ならば私の桜も咲いていたはずでした。取り戻した自由の中で春の到来を喜んでいたので、ように、あの大地震に津波、原発事故と続く災害の中で延期になりました。

私の方は延期で済み、また5月に予定が入りましたけども、今度の災害では、沢山の命が奪われ、今も困難な避難生活をされる皆さんを思いますと、自分の44年の冤罪体験が小さなこ

とのように思えます。

の報告 たち近 た況私

大震災によつて甚大な被害を被られた方々、そして現在も被害を受けて避難生活を送られている方々のことを思うといたまれない思いにかられます。一日も早い復興を祈ります。

さて、私たち布川事件の判決も、3月16日に予定されていましたが大震災の影響で延期とされてしまいました。しかしこの延期は、私にとっていささかの動揺もありません。40数年がんばってきたのですから、数ヶ月単位の延期は

被災に遭われた皆さんに、心からのお見舞いとエールをお送りしたいと思います。

大震災に冷静に対応できた これも44年の冤罪体験のおかげか

桜井 昌司

そして子供たちの準備運動を2階から見ているときに地震でした。帰宅すれば本箱や茶筆筒は倒れ、あらゆるものが散乱した部屋でしたが、幸い

にも物が壊れた以外の被害はありませんでした。今度の体験で、私は新しい自分を知った思いでもあります。それは津波のように溢れるプールの水

を見ながら冷静に子供の避難を確認したり、停電を予想して寝床を確保する整理をし、「本震に勝る余震はない」と、余震に備えた上で眠れたり、

ガソリン不足や物不足にも、「物流が回復するまでだから」と慌てずに対応したり、全く動じない自分がいたことでした。これは冤罪体験が与えてくれた精神ですね。

判決延期で予定がない今月は、隠れた被災地である茨城県内でお手伝いをして、私から様から受けた真心からの恩を、少しでもお返し出来るように頑張るつもりです。

お困りの方、私に声を掛けてください。お手伝いに行きますよ！ 土方は何でもやれますよ！

大震災からの一日も早い復興を祈ります

屁でもないと思っっています。半年ぐらい延びてもよいと思っただけです。むしろ、被災地の人たちのことを考えると、いまここで判決を受

つぱいです。つい先日の新聞によると、「検察の在り方検討会議」の記事がありました。それによると、民主党も法務省も全面可視化

復興のメドが立ちよい環境のなかで

共に喜び合いたい気持ちでいっぱい

杉山 卓男

けるのには、途惑いがあります。復興のメドが立ちよい環境のなかで、いままで布川事件に関わってくれた皆さま方と共に喜び合いたい気持ちでい

については全くやる気がないことが分かりました。特捜部事件だけ一部可視化の方向で進めているとのこと。一部可視化については、私たちはそ

の弊害を身をもって体験している訳ですから、非常に危惧しています。全面可視化、そして全証拠の開示、代用監獄の問題、それらが全て法制化されなければ、冤罪はまだまだ起こると確信しています。全面可視化で議論まで立ち上げたあの勢いはどこへ行ってしまったのでしょうか。全面可視化が実現するまで、私なりにこれからも活動していく決意です。

ドキュメンタリー「シヨージとタカオ」
・フィルム・ビデオ

人間力を感じた、 寄せられた感想からいくつかを

言葉が出ません。観たもの全てが自分にとって衝撃でした。弁護士になって私もこういう苦しんでいる人たちに支援がしたいと思いました。(学生 女性)

☆
158分が長いとは感じなかった。あつという間があった。言葉にならない感動があった。苦しいだけじゃなく笑顔もあり、深さを感ずる。生きることの大切さ、辛さ、幸せ、20年しか生きていない私には実感がわかないことも多くあったけれど、貴重な経験ができた。(20代女性)

☆
小生が涙ぐむシーンで横の女性がしばしば「アハハ」と笑うのが気になりましたが、考え直して、深刻なテーマをユーモアたっぷり描いた、素晴らしい演出であり、また映像であると感じさせられました。(70代男性)

の強さに感動しました。(50代女性)

☆
シヨージとタカオのお二人は、英雄でも君主でもなく、不良少年で別件逮捕され、お互いに疑って……、とても人間らしいところが印象的でした。(女性)

☆
素晴らしい映画を拝見出来たと未だに感動がさめなっています。
一つの芸術の様な、それでいてとても人に近くに存在し、とても優しくて、切なく、愛に満ちあふれていました。あの映画を観ていてもちろん事件の事を良く理解出来ましたけれども、それ以上に「人の存在意義」みたいなものを強く感じました。(20代男性)

☆
エンザイのこともあるが、2人の生き方がとても共感できる部分が多かったです。たくさん悩みや苦しみなどがありながらも、前向きにやっけていってそれでも悩んでいる姿勢にうたれました。(男性)

普通の映画を見ても、つまらないと眠くなってしまいう私達ですが、この映画は全くその状況にはならず、時間を忘れて見させて頂きました。

☆
良い映画とか面白くないとかではなく、人生って何があるか解らないと考えさせられるドキュメンタリーでした。一番心に残った言葉「刑務所に居た時のほうが楽だったかも…」ズキッと感じました。(50代夫婦)

☆
ものすごい人間力を感じました。お二人のたくましさとそれを支え続けた人々

〈活動日誌〉

- 1 月
- 13 世田谷区労連旗ひらき 桜井
- 15 布川事件守る会「新春のつどい」(新宿農協会館) 桜井
- 16 杉山
- 17 世田谷区ポロ市で宣伝行動
- 17 日大芸術学部講義に参加(日大古田校舎) 杉山
- 18 布川事件ニュース370号発送作業(平和と労働センター)

- 19 裁判所要請(水戸地裁土浦支部)
- 21 救援会東京都本部旗ひらき(文京区民センター)
- 2 月
- 2 清水誠さん通夜(中目黒・実相会館別館たちばな)
- 3 清水誠さん告別式(同)
- 3 救援会大田支部旗ひらき 杉山
- 4 布川事件守る会第10回事務局会議(平和と労働センター)

- 杉山
- 〃 救援会渋谷支部大会 桜井
- 5 茨城の会合同新年会(筑波山・江戸屋 桜井、杉山)
- 6 救援会中央委員会(平和と労働センター) 杉山
- 12 「シヨージとタカオ」上映会(松戸市民劇場) 杉山
- 〈おことわり〉判決日の延期で、3月のニュース発行が出来ませんでした。お詫いたします。